



てき丸君News 第52号

発行：公益社団法人全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

第40回理事会を開催

当連合会の第40回理事会を7月10日に開催しました。

今回の理事会では、①地域協議会役員について、②委員会委員及び部会運営委員等の選任について、③連合会専務理事の報酬額について、④連合会事務局長の任命について、⑤連合会表彰規則内規の一部改正について、⑥平成30年度適正処理推進事業等活動支援金交付について、⑦保存期間経過後会計関係書類の処分について、の7つの議案を審議しました。議案のうち連合会事務局長の任命については、総務部長の桑田信男が事務局長に就任（総務部長兼務）することが承認されました。

また、報告事項では、11月16日に金沢市で開催する「第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会」の準備状況等を報告しました。
(総務部・古川)

全国正会員事務局責任者会議を開催

平成30年度第1回正会員事務局責任者会議を7月26日、東京都港区のアジュール竹芝で開催しました。今回の事務局責任者会議は、平成30年度における事業運営の概要として①平成30年度事業計画骨子、②連合会表彰規程内規の改定、③産業廃棄物処理業における人材育成、④労働災害防止計画の平成30年度事業方針、⑤マニフェスト・スマートプラスの申し込み状況等を議題としました。
(総務部・古川)

連合会からのお知らせ

●安全衛生に関する会長会議●

安全衛生に関する会長会議を6月15日の第8回連合会定時総会の開会前に開催しました。

本会議は休業4日以上死傷者数が40人以上の都道府県の正会員協会会長11名と連合会安全衛生委員会委員を務めている正会員協会会長の3名にお集まりいただき、安全衛生活動の取り組み強化の必要性を確認するために開催したものです。

業界全体の死傷者数の削減のためには、非会員企業にも積極的に安全衛生の取組みを働きかけていくことが確認されました。
(調査部・戒能)

●安全衛生に係る講師の打合せ会●

安全衛生に係る講師の打合せ会を7月18日に開催しました。

本打合せ会は、正会員からの講師の斡旋依頼に対応するため、安全衛生の講師を引き受けていただける方々にお集まりいただき、正会員協会が開催する研修会における説明内容や意識の共有を図ることができるように開催したものです。

当連合会では、正会員協会が開催する研修会を通じて、産廃処理業者に安全衛生管理体制を構築することの重要性を説明し、産廃処理業者の意識改革及び労働災害の撲滅に向けて全力で取り組んでまいります。

(調査部・戒能)

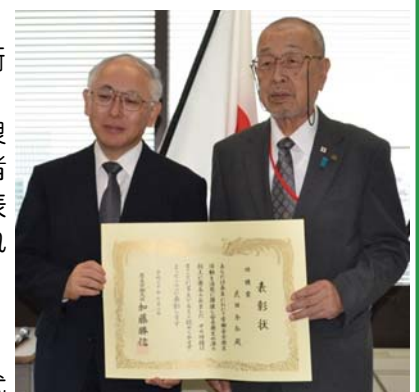
平成30年度「安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣表彰」

●武田安全衛生委員長が「功績賞」を受賞●

このたび、武田安全衛生委員長が平成30年度の「安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣表彰 功績賞」を受賞されました。

7月6日には厚生労働省（中央合同庁舎5号館）にて表彰状の伝達式が執り行われました。

「功績賞」は安全衛生活動の指導的立場にあり、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上・発展に多大な貢献をした個人に贈られます。



産業・資源循環議員連盟が平成30年度第2回総会を開催

平成30年度第2回産業・資源循環議員連盟総会が、7月17日に衆議院第二議員会館第1会議室で開催されました。総会では、去る5月22日開催の平成30年度第1回産業・資源循環議員連盟総会において決定された「産業・資源循環議員連盟活動方針」を受けて、「活動方針に基づく活動の重点分野と進め方」（別掲）及び重点分野の課題解決のための調査研究を行うプロジェクトチーム（PT）設置とメンバーが決定されました。



田中和徳議員連盟会長は、「具体的な活動を実施するため、PTを設置して調査研究を行ない、課題解決に取り組んでいく。産業廃棄物処理業は静脈産業でなく、日本で中心をなす産業である資源循環産業である。国民や社会の期待に添うべく議員連盟も活動し業界の振興に取り組んで行く」と挨拶されました。

一方、全国産業資源循環連合会政治連盟の高橋俊美副理事長は、「PT設置に当たり、資源循環に向けての廃棄物処理法の役割や業の振興について調査検討を進めていただくことに期待している。当政治連盟としては連合会が公表した振興法案の制定を目標としている」と挨拶しました。

プロジェクトチーム（PT）のメンバーは次の通りです。（掲載順不同・敬称略）

井上信治衆議院議員（座長）、松村祥史参議院議員（副座長）、あかま二郎衆議院議員（事務局長）、赤澤亮正衆議院議員、中西祐介参議院議員、小倉将信衆議院議員

また、当日の出席者は次の通りです。（掲載順不同・敬称略）

【産業・資源循環議員連盟】

田中和徳会長（神奈川）、渡辺博道会長代行（千葉）、望月義夫会長代理（静岡）、井上信治会長代理（東京）、片山さつき幹事長（全国比例）、あかま二郎事務局長（神奈川）、井林辰憲議員（静岡）、小倉将信議員（東京）、平口洋議員（広島）、工藤彰三議員（愛知）、その他代理出席20名

【環境省環境再生・資源循環局】山本昌宏局長、成田浩司廃棄物規制課長、相澤寛史前制度企画室長

【全産連政治連盟】高橋俊美副理事長、小林増雄監事、杉田昭義理事、森谷賢理事

●議連・政連の幹部懇談会も開催●

産業・資源循環議員連盟幹部と全国産業資源循環連合会政治連盟幹部との懇談会が、7月9日にザ・キャピトルホテル東急において開催されました。

5月22日に開催された平成30年度第1回産業・資源循環議員連盟の総会において、議員連盟の活動方針が決定されました。それを受けて、田中議員連盟会長をはじめ議員連盟幹部の先生方と國中全産連政治連盟理事長ほか業界幹部が出席して、産業廃棄物業界の現状と今後のあり方について、忌憚のない意見交換が活発に行なわれました。

当日の出席者は次の通りです。（掲載順不同・敬称略）

【産業・資源循環議員連盟】

○会長：田中和徳衆議院議員、○会長代行：渡辺博道衆議院議員、○会長代理：望月義夫衆議院議員、井上信治衆議院議員、鶴保庸介参議院議員、○副会長：竹本直一衆議院議員、北村誠吾衆議院議員、吉野正芳衆議院議員、○副幹事長：赤澤亮正衆議院議員、松村祥史参議院議員

○事務局長：あかま二郎衆議院議員、事務局次長：小倉将信衆議院議員

【全産連政治連盟】

○理事長：國中賢吉、○副理事長：藏本忠男、高橋俊美、○業法担当理事：川本義勝

○理事：佐藤俊彦、橘正則、大野羊逸、杉田昭義、藤枝慎治、浜野廣美、森谷賢、○監事：城田裕司
（政治連盟事務局長 土井洪二）

(別掲) 平成30年7月17日

「産業・資源循環議員連盟活動方針に基づく活動の重点分野と進め方」

会長 田中 和徳

1. 議員連盟所属議員の増強と業界との連携

- 各都道府県の業界の推薦のもと、当議員連盟所属の議員を増やすために努力する。
- また、業界との信頼関係を高め、緊密な情報交換や政策構築のため、適宜、研究会や懇談会を開催する。

2. プロジェクトチーム（PT）の設置

- PTを設けて下記の分野（3.以降）について調査研究を行い、その結果を当該議員連盟に報告する。

3. 労働力人口減少等に対応する人材の確保・育成

- 優秀な人材を確保・育成するため、知識・技能を客観的に評価する方法を検討する。
- 安全・安心に働ける職場づくりに向けて、他産業と比べて多発する労働災害の防止に向けた関係団体・関係機関等の役割について検討する。

4. 業界の構造転換の促進と排出事業者責任の徹底

- 健全な競争が行われる業界へと構造転換を図るため、排出事業者による適正な費用負担など、排出事業者責任の徹底に向けた方策を検討する。
- 環境教育や地域の雇用確保の場として地域から認知されることにより、各企業や業界全体のイメージアップを図るための方策を検討する。
- 国又は地方公共団体が実施する災害廃棄物処理へのさらなる協力のあり方について検討する。

5. 先進的な技術の開発・導入による生産性向上

- IoT・AIによる収集運搬や処理機械設備の効率化、省人化等を進め、生産性向上を図る。

- このため、現場で利用可能な技術の開発や、先進的技術の導入促進を支援する方策を検討する。

6. 世界の潮流である脱炭素への対応

- パリ協定など世界的な脱炭素の潮流を踏まえて、処理委託の制約を有し、中小企業が大多数を占める産廃処理業においても、低炭素化を取り込んだ業として、その持続可能性を高める。また、再生可能エネルギーの供給等、新たなビジネスモデルも検討する。
- このため、廃熱の有効利用や施設の省エネ化、収集運搬車の低燃費化などを更に強力に進めるための方策を検討する。

7. 日本の技術を活かした国際展開・国際貢献

- 我が国の優れた技術・制度を活かし、我が国の産廃処理業が海外展開を図るとともに、途上国で処理できない廃棄物を日本国内で処理することにより、世界規模での循環型社会の構築に貢献し、国内経済の活性化に寄与する。
- このため、海外展開の人材面での後押しと国際貢献を図る観点から、外国人技能実習制度の産廃処理業への適用に向けて検討する。
- また、循環資源の輸入の円滑化に向けた方策を検討する。

8. 廃棄物処理法の役割の検討

- 上記3.～7.の取り組みを促進する観点で、廃棄物処理法が果たすべき役割の検討を進める。

以上

●INDUST 8月号特集「資源循環最前線」●

20数年前から各種リサイクル法が段階的に施行され、廃棄物処理事業にリサイクルの観点がかみ加味されて取組が行われてきました。現在は、各種リサイクル法に基づき「容器包装」「建設」「自動車」「食品」「小型家電」「パソコン」等のリサイクルが進められていますが、一方で、一気に増えた太陽光発電に使用された廃パネル（モジュール）のリサイクルや、事故や環境への悪影響が懸念される船舶のリサイクルも課題になっています。

純度の高いリサイクルは処理量に影響すると考える事業者、逆に処理量よりも純度の高い回収を優先する事業者もいますが、いずれにしても将来性があり、継続して一定の需要が見込めるリサイクル事業とは何か、気になるところです。

今号では各種リサイクル法対象外のリサイクルの現状や事業性、課題について解説します。

(事業部・東方)

- 主な行事予定 - (8月23日～9月19日)

【8月】

- 23日 青年部協議会幹事会
- 24日 産業廃棄物処理実務者研修会（滋賀）

【9月】

- 5日 法制度対策委員会
- 11日 総務倫理委員会
- 19日 新事業検討WG

平成30年度産業廃棄物処理実務者研修会～基礎コース～

廃棄物処理法の政省令改正の内容についても紹介します！

※本研修会は、継続学習制度（CPDS）の講習会
（一般社団法人全国土木施工管理技士連合会）に認定されています。

1. 目的

この研修会は、産業廃棄物を取り扱う方々の実務に必要な廃棄物処理法、委託契約、マニフェスト（産業廃棄物管理票）、帳簿等の産業廃棄物の幅広い基礎知識を学び、初心者から経験者まで、多くの方々に知識の習得、再認識をしていただくことを目的としております。

また、来年2月17日に開催する平成30年度産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）の受検対策としても役立ちます。

2. 受講対象者：排出事業者及び処理業者における産業廃棄物を取り扱う実務担当者

3. 開催期日

	開催地	開催期日	会場名	定員
1	滋賀県	平成30年8月24日(金)	ピアザ淡海	150
2	三重県	平成30年10月15日(月)	四日市商工会議所	150
3	熊本県	平成30年10月19日(金)	メルパルク熊本	120
4	群馬県	平成30年11月 8日(木)	前橋問屋センター	150
5	沖縄県	平成30年11月27日(火)	カルチャーリゾートフェストーネ	150
6	東京都	平成31年2月5日(火)	ベルサール西新宿	150

4. 研修内容（受付は午前9：30からです。）

10:00 12:00 12:50 13:10 14:30 16:00 16:30

産業廃棄物処理の基礎	昼休み	質疑応答	産業廃棄物の委託処理と委託契約	産業廃棄物管理票・帳簿	質疑応答・修了証の交付
------------	-----	------	-----------------	-------------	-------------

5. 受講料（テキスト代含む）：7,200円（税込）

6. 受講申込・問合せ先

受講を希望される方は、(公社)全国産業資源循環連合会のHP（<https://www.zensanpairen.or.jp>）からのインターネット申込み又は受講申込書を下記問い合わせ先より入手いただきFAXにてお申込下さい。

なお、各会場は、定員になり次第、締め切らせて頂きます。

<問合せ先> (公社)全国産業資源循環連合会 事業部

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4F

TEL 03-3224-0811 <https://www.zensanpairen.or.jp>

7. 協力機関

(公社)群馬県環境資源創生協会 (一社)東京都産業廃棄物協会 (一社)三重県産業廃棄物協会
(一社)滋賀県産業廃棄物協会 (一社)熊本県産業資源循環協会 (一社)沖縄県産業廃棄物協会

(公社) 全国産業資源循環連合会

人材育成のサポートは連合会にお任せください
ご参加をお待ちしております

全国産業資源循環連合会は、環境省の後援で、独自の人材育成プログラムにより、基礎知識から専門的な技術の習得まで、産業廃棄物処理に係わる従事者の知識、能力向上に貢献します。

後援：環境省 [平成30年度 人材育成プログラム]



上記、研修会/試験等の詳細は各案内をご覧ください

産廃 人材育成 検索

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>



お問合せ先：(公社) 全国産業資源循環連合会

TEL 03-3224-0811

住所 〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2 ABビル 4階

URL <https://www.zensanpairen.or.jp>

2018.08

産業廃棄物処理について学ぼう

産業廃棄物処理 eラーニング講座

受講対象と本講座の特長

- この講座は、産業廃棄物処理に興味がある方や従事者の方ならどなたでも、個人単位で受講することができます。
- 受講はご自身のパソコンで行います。インターネット環境があれば、学習期間中にいつでも、どこでも自分のペースで受講可能です。
- 本eラーニング講座は、パソコンから映像を視聴いただく講義、理解度テスト、その後じっくり学習するためのテキスト教材(画面表示のみ)で構成しています。
- 理解度テストは、正解するまで繰り返し出題されますので、より理解を深めます。
- 各講座の受講が修了すると、修了証を画面表示します。

後援：
環境省

平成30年度 開催案内!

(申込受付期間：11月1日～11月30日)

【学習期間：平成31年1月7日～2月15日】



【講座名・学習内容】業態に合わせ4講座を用意

- ①廃棄物処理法基礎 (廃棄物の種類、委託契約、マニフェスト、保管基準、処理基準等)
- ②収集運搬現場業務 (収集運搬に係る法令等、安全衛生、作業工程管理、留意点等)
- ③中間処理現場業務 (中間処理に係る法令等、安全衛生、作業工程管理、留意点等)
- ④最終処分現場業務 (最終処分に係る法令等、安全衛生、作業工程管理、留意点等)

受講料：1名 **5,400円** (税込、
通信費等は利用者負担)

※本料金で上記全ての講座を受講可能です。

お申込み方法

専用ポータルサイトにて受付。詳しい情報は、こちらのサイトより

産業 人材育成 検索

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>



【お問合せ先】

(公社)全国産業資源循環連合会
eラーニング担当

TEL: 03-3224-0811

FAX: 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17
第2ABビル4階

●営業時間/月～金 9:00～17:00

●定休日/土日・祝日

2018.08

キャリアアップを考えている方に必須の試験です！

(公社)全国産業資源循環連合会

後援：
環境省

産業廃棄物処理検定 (廃棄物処理法基礎)



こんな人のニーズにおススメです。

- 人事・管理部門
現場の担当者が業務に必要な知識を身に付けているか、定量的に把握したい方。従業員の人材育成にご活用ください。
- 廃棄物処理担当
廃棄物を処理する上で、実務に必要な正しい知識が身に付いているかを確認したい方。

平成30年度産業廃棄物処理検定
この検定に合格すると・・・

- 合格証明書カードが交付されます。
- きちんとした知識を備えた人材であることの証明になります。
- お客様やクライアントからの要望に対して、より効果的で適確な提案をすることができます。

【試験日時】平成31年2月17日(日) 10時～11時30分

【申込方法・受付期間】専用ホームページにて申込受付、平成30年12月5日～平成31年1月18日
(ただし、定員になり次第、受付を締め切ります)

詳しくは、連合会ホームページでご案内いたします。

産廃 人材育成

検索

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>



【試験形態】マークシート方式による筆記試験

【試験範囲】廃棄物の種類、排出事業者責任、委託契約、マニフェスト、帳簿保管基準、処理基準等に関する法令の基礎

受験料：
7,020円(税込)

【試験会場(予定)】 全国12会場で同時開催

最寄の会場をご利用ください

開催場所(定員)	試験会場名	所在地
岩手県(150名)	岩手教育会館	盛岡市大通1-1-16
栃木県(100名)	関東職業能力開発大学校	小山市横倉三竹612-1
埼玉県(70名)	TKP大宮駅西口カンファレンスセンター	さいたま市大宮区桜木町1-8-1
東京都(180名)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	東京都新宿区市谷八幡町8
神奈川県(120名)	(学)岩崎学園 横浜西口2号館	横浜市神奈川区鶴屋町2-17
新潟県(100名)	新潟県建設会館	新潟市中央区新光町7-5
長野県(70名)	長野バスターミナル会館	長野市中御所岡田178-2
静岡県(70名)	レイアップ御幸町ビル	静岡市葵区御幸町11-8
愛知県(150名)	名古屋国際会議場	名古屋市熱田区熱田西町1-1
大阪府(140名)	国民會館 武藤記念ホール	大阪市中央区大手前2-1-2
広島県(100名)	広島工業大学専門学校	広島市西区福島町2-1-1
熊本県(120名)	ユースピア熊本	熊本市中央区水前寺 3-17-15

共催：

一般社団法人岩手県産業廃棄物協会
公益社団法人栃木県産業資源循環協会
一般社団法人埼玉県環境産業振興協会
公益社団法人神奈川県産業資源循環協会

一般社団法人新潟県産業廃棄物協会
一般社団法人長野県資源循環保全協会
公益社団法人静岡県産業廃棄物協会
一般社団法人愛知県産業廃棄物協会

公益社団法人大阪府産業資源循環協会
一般社団法人広島県資源循環協会
一般社団法人熊本県産業資源循環協会

【お問合せ先】

(公社)全国産業資源循環連合会
検定試験担当

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17
第2ABビル4階

TEL: 03-3224-0811 FAX: 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

●営業時間/月～金 9:00～17:00

●定休日/土日・祝日

2018.08

最終処分維持管理技術研修会

最終処分場の維持管理技術向上のために、また同業他社の同様の立場の方とともに実技演習し、意見交換を行う場として、研修会を開催します。参加資格は各都道府県産業廃棄物協会会員企業で、かつ、現在、稼働中の最終処分場を所有している企業の方に限定しています。

1 開催次第等

- 1) 日時 平成30年10月4日(木)11時～10月5日(金)17時30分
- 2) 会場 ホテル福岡ガーデンパレス、
福岡市西部(中田)埋立場、福岡市西部(今津)汚水処理場

3) 出席者

- ① 出席者の範囲：産業廃棄物最終処分場管理者等
- ② 出席予定者数：45名(予定)

4) 参加費用(予定)

67,300円(税込)

5) 開催次第(予定)

① 1日目(10月4日(金)11時～17時)

施設名：ホテル福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4-8-15)

次第：

- 1：最終処分場を取り巻く課題と方向性
講師：環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課
- 2：福岡市における最終処分場の考え方と維持管理
講師：福岡市環境局施設部施設課
- 3：最終処分場の最新情報と事例紹介及び最終処分場の
廃止と健康診断
講師：福岡大学環境保全センター
- 4：産業廃棄物最終処分場における埋立廃棄物の管理
講師：(公社)全国産業資源循環連合会

② 2日目(10月5日(金)8時30分～17時30分)

I 施設名：福岡市西部(中田)埋立場(福岡市西区今津4439)

次第：

- 1：福岡市における一般廃棄物埋立場の維持管理
- 2：地下水モニタリングの実践
- 3：埋立場施設視察と維持管理手法の実践

II 施設名：福岡市西部(今津)汚水処理場(福岡市西区今津5371)

次第：

- 4：浸出水・浸透水の健康診断(実践編、評価編)

詳細は、以下のホームページをご参照下さい。

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>